男女貞潔之理想　公娼廢止之主張
會長 島田三郎　副會長 安部磯雄

（明治四十四年八月一日第三種郵便物認可）（大正六年十一月一日納本）（毎月一回一日發行）

4—385

# 廓清

第七卷 第十一號

□飛田貸座敷地指定取消に關する上奏文……前衆議院議長 島田三郎
□物價騰貴と經濟道德……早大教授 安部磯雄
□物價騰貴と國民生活……早大理事 平沼淑郎
□時局と國民の覺悟……農商務大臣 仲小路廉
□天災地變と婦人……三輪田女學校長 三輪田元道
□天災と安心第一……新佛教幹事 高島米峰
□淨瑠璃の男女道德……一條忠衛
□三行八面鋒……隆之助
□日本婦人の第一努力……女子學院長 三谷民子
□遊廓物語（九）……救世軍婦人救濟係 伊藤大尉
□自由廢業と行政訴願……辯護士 布施辰治
□天誅の響……光鹽生
□編輯餘錄……角雅堂
□廓淸春秋……河合北洲

東京 廓清會本部發行

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

●御注文の際は必ず雑誌『廓清』による旨御申添乞をふ●

●廣告主へ御用の際は必ず雜誌「[illegible]」に依る旨御申添を乞ふ●

□第一卷第六號□ □十月十五日發行□

# 社會改良

▽個人と團體……鈴木文治
▽勞働局につきて……油谷治郎七
▽企業者と勞働者へ…山脇博士
▽獨逸の勞働組合…ラスカー
▽同盟罷業の方法…酒井濠

雜俎
□グレー卿の追憶……油谷生
□『職人の天下だ』……鈴木生
□年の若い老人……久留生
□A君へ……謙

最近思潮
最近の同盟罷業……桑田博士
英國の勞働組合組織……ウエッブ

▽勞働紛議解決策 岡見愼二
▽工場監督官の活動 監督官
▽キングスレー傳 野坂鐵

▽定價(郵税共)一部六錢▽半年三十五錢▽一年六十五錢△ ▽振替東京參貳貳五壹番(社會改良社宛)

東京芝區三田四國町二 社會改良事務所

# 開拓者

價十五錢■ 十一月號 ■一年一圓五十錢

■物力の深れ(詩)……岡田哲藏
■銚子の濱(紀行)
△砂村にて……恒郎
△月……(秋)……別所梅之助
■ムオコーン(飜譯)……多胡雨耘

□懷疑より信仰へ……小松武治
□國際問題と基督教……海老名彈正
□工女問題と基督教……江原素六
□靈性の進歩……宮川經輝
□伊太利の國民性觀……元田作之進

■文展批評……石多棱路
■評論……(十月號諸雜誌)
近代歐米の二潮流……一記者
■△西の都へ……(杜美雄)
聖書日課 耶蘇の社會訓……栗原基

東京神田表猿樂町十番地
發行所 日本基督教青年會同盟本部
振替東京二〇一九六 電話本局六二四

# 上奏文

## 飛田貸座敷指定地取消に關する

左は今般飛田遊廓反對最後の手段として宮川、林、松浦、島田、安部、矢島外數名にて謹で聖斷を仰ぎ奉りたる上奏文の寫しです。

下名の者誠款誠悃頓首謹言

昨大正五年大阪に於て、新に一大遊廓地を設定し、之を大にしては、全國の風紀を紊るの惡例を示し、之を小にしては、帝國商工業の中心に、良風を破壞するの勢を煽がんとす。下名の者、是を以て國家の一大不利なりと信じ、之を未成に遏めんと欲し、各種の團體、個人の有志と共に、熱誠に反對盡力したるも、當局は、其一旦公許したる政令の非を更むるの勇斷なく、心に其非を曉るが如くなるも、言を左右に寄せて、之を實行せんとす。抑遊廓公許の制度は、未開蠻風の遺孽にして、文明社會の容るべきものにあらず、明治五年政府は、日新の氣運に乘じて、其根柢に一大斧鉞を下され、奴隷と見認むべき、人身賣買醜業强行の陋習を破らんとの號令を發せられたるは、數百年來沿襲の迷夢を覺醒し、國史を照輝すべき、明治政史中の一大美擧なりしが、爾來有司の施爲當年爽刷の意氣に副はず、國民も亦、多年浸染の汚風を一洗する事能はず、命令は、徒法空文に化し、狡徒又其間に乘じて巧に人身賣買の實を行ひ、名を警察衞生の便宜に藉りて、賣婬公許人身束縛の陋制を維持せんとす、此事眞に照代の汚瀆なり。然れども人文の進むに隨ひ、世人漸く、其非を認めて、舊制徐ろに、廢せられんとする運に嚮へり、謹みて惟みるに、國運の隆衰は風紀の淸濁に原づき、世態の醇醨は家道の整否に因る。夫れ賣婬公許の制度は、公許其事が、國家正念の本源を汚するものにして、其政治に敎育に室家に及ぼす事實の弊害を例擧せんに、奴隷主人をして、公人の資格を有せしめ、彼等をして、地方議員とならしめ、各種の公吏とならしめ、衆議院議員とならしむるに至る。婦人の敎育を重じて之を社會進歩の一大要件とするは、近代文明の特徵なり、然るに婦人の人格を否認し、一部の婦人をして放逸男子の犧牲たるを公許する制度は、昭代の思想と、相容れざるものにして、人倫の常道を破り室家の幸寧を滅却す。是れ國家の基礎を蠹し、社會の組織を壞るべき一大爆彈にあらずして何ぞ、或は多年沿襲の制度一時に禁止し難しと云ふも、下名の者は之を信ずること能はず、今日の有司にして明治五年時代の意氣あらしめなば、號命一發、能く積習を一洗せん、下名の主張する所は、政令を以て、民風を一時に變革するを得べしとの謂にあらずして、其公許制度を廢止して、別に之に對する方法を取らんとするに在り、今假りに、此雄斷を行はず、緩漫なる別法として、改非の方針を立つるも尙現今の制度に優るものあり。卽之を抑へ之を制して、公然良民を誘惑する組織を變改し、以て其勢を減殺し、民をして、恥づる所を知らしめ、其極廢絕を幾年の後に期するは、常識を有する者の容易



Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

に首肯し得る所にして、又現に之を實行して、相當の成績を實驗し得たる地方群馬縣の如きあり。然るに今日遊廓制度に對するの方針は、之に反して、唯現存の者を維持するに止まらず、種々の口實を設けて之を擴張し、之を新設し、以て熾んに、此陋を煽ぎて以て此醜制を擴めんとす。而して其眞相を察するに、大抵其候補地を豫定して、土地賣買の投機に利用し、公許を得んとを運動して、其關係者に贈賄し之によりて設定地の價格を高め、之によりて、奇利を博せんとする狡徒の計畫に出でざるもの殆ど稀なり。眼唯私利あるの徒、心豈公益にあらんや。其市區整理といひ、衛生警察の便宜といふ、畢竟私利貪求を紛飾するに過ぎず、下名の者多年此問題の事情に留意して其裏面を窺ふに、各地同一軌轍なるを看取したるが大阪市に於ける新遊廓地の開設は其計畫の大にして其尤露骨なるもの也。

大阪市の良民は府知事の此處分によりて、我帝國商工業の中心地を腐敗し、又教育地區を汚瀆し、永久市民が被むる所の大害を憂慮して此公許命令の徹回を大阪府知事に請願し、全國同感の人には、是れ唯大阪市の患にあらず、國人をして政府の方針遊廓增設を是認するに在りと想はしめなば、同一醜汚の運動全國各地に續出し、或は政治團體を擁ち、或は地方有司を動かし、利奔益走賄賂請託政紀を紊り、風俗を壞るの端之より開けて、其弊底止する所を知らざらんとす。是れ決して一部會の問題にあらずして、全國の問題なり、風俗の問題にして又政治の問題なりと謂へり。大阪市の良民先づ呼號して、各地之に應じたるは之が爲なり。其反對運動の顚末此制度に對する理論、意見、事實の經過は添えて呈する所の別册に具載しあるを以て、敢て此に縷述せず、之を要するに此問題は、民族改良、風紀革正、衛生、進步等、各方面に涉りて研究を要する世界的及び國家的公問題なるに拘らず、有司多くは地方的問題と見做し、甚きは、私利の目的の爲に輕薄に處理せられ利用せらるゝは深く慨すべし。

昨年以來此件に對し、或る者は、大阪府知事に請願し、或る者は、內閣大臣に請願し、或る者は衆議院議長に請願したり、其事實意見辨論主張を記して、四方に告げたる書あり、今回請願書を奉るに際し、特に御參考の爲に記述したる文も亦之あり、其體裁區々にして齊整せざるも、起草其時を殊にし、告ぐる所、其人を異にするによる、此に之を一括して、本請願書に添えて之を上つる。

抑此問題の輕視すべからざるは前來陳述する所の如くにして、別册の文書と相俟ちて、以て其事實の經過及び反對の論據詳明せらるべし。想ふに、大阪知事は、許可の後其事態の眞相を審知し、胸中大に悔ゐる所あるべきも、四圍の事情、其勢を回すの力なきを嘆ずるなるべし、願くは、此の問題を、當該の有司に下して、更に之を審查せしめ、以て此過擧を糾正し、以て良民の良心を安じ得しめ給はらんことを、幸にして正當の歸結を得るに至らば、大阪市民が直接其百年の患害を免るゝのみならず、之によりて國民を覺醒し、以て全國の頹風を回すべく、此に大正年代風紀革正の端を開き、明治五年解奴の發令と相並び、以て光輝を國史に放たんとす。下名の者悃請懇願の至りにたえず。敬白頓首。



Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

# 物價騰貴と經濟道德

教授
經濟會副會長　安部磯雄

## □暴利を獲得するの是非問題

凡そ物價といふ者は其原則として一定不變的ではないのだから、常に高低のあるといふ事は止むを得ないが、諸物價の騰貴する機を利用して、商人が殊更に人爲的に其勢を煽つて需要者へ高く賣付けやうとするのは甚だ當を得ない事である。斯ういふ傾向は獨り我國許りでなくして、從來歐米諸國にても隨分例のあつた事なのであるが、當然之は善惡問題に關る事だと思ふ。私の謂ふ意味は無論此事ではないけれども、併し今日の如に經濟界の全體が全く自由放任主義を採る以上は、夫れが惡い事であると云つても單に道德を以つて之を束縛するといふより他に道がないのである。

物價の標準が需要供給の關係から産出される者である以上需要者が多くなれば從つて夫に連れて騰貴するのは止むを得ない事である。之を極端に言ふならば、今回の水害に於ける場合の如に、需用者の弱味に附込む事は眞實不當には相違ないが、さりとて經濟界の自然の原則に任して置くならば、多くの利益を得たいのは人情の然らしむる處であるから、何とも仕方がないのである。今回其筋の注意を受けた者の多くは小商人であつた。だから社會は痛切に小商人の不都合を感じたやうであるけれども、實際はそれと同じ樣な事が現在の社會に幾何もあつて、獨り小商人許りではないのである。

## □罹災者のみが弱者に非らず

第一獨占事業といふ者は卽ち夫れである。例へば亞米利加のロックフエラーのスタンダート石油會社の如きは、亞米利加全洲の石油の供給を一手に握つて居るといふ狀態であるから、石油が騰貴する場合は知らぬ顏で居るけれども、一朝下落する樣な傾向があると、早速供給高を控目にして、人爲的に騰貴させるのである。斯樣に獨占事業者の意に依つて何うとも勝手にする事が能る。例を遠く借りる迄もなく、我東京市民の最も痛切に感ずる處の電燈瓦斯等を値上げされたなら市民は矢張り何うする事も能ないのである。だから一割でも二割でも値上げされたからとて、吾々は夫れに對して何とも云へない。されば之を自由に遣つて不當の利を得る事と、小商人が今度の如き場合に高く賣付けやうとするのは、經濟界の放任主義が行はれる間は、又奈何とも爲る事が出來ないのである。けれどもそれは仕方ないとしても、人の弱味に附込



Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

むといふ事は甚だ不都合ではないかと謂ふ者があるであらう併し其筆法で行くならば電燈瓦斯等の如き獨占會社に對する我々の立場は全く弱者の意味に變りはないのである。何故なれば我々が會社に對して不平があつても、夫は何うする事も能ないし、若しも其不平から遁れやうとすれば勢ひ止めなければならない事になる。弱味に附込といふ事は小商人の遣方と何等變る處はないのである。

## □食料分配の不平均を奈何せん

其處で問題は根本に溯つて考へなければならない。勿論今回警視廳の政策は大に贊成する。併し只小商人丈を取締つて其他の方面に網を擴げなかつたといふのは全く大魚を逸して小魚を漁つたやうに感ぜられてならない。國家が同一の考へで行くならば、何故卸商をも同じ方法で取締らなかつたか、最う一歩進めて、啻に今度の如な天災地變の時許りでなく、常に國家が獨占會社等に對しても同じ方法を執つて、弱者を保護する事に力めなかつたか。今後は大に之等に意を用ひて貰いたいと思ふ。其處に初めて社會の力といふ者が認められるのである。

此食物の關係に就ては歐洲戰爭に依つて、各國が痛切に感じて居る。前にも述べた通り小商人が機を利用し需要者へ高價に賣付ける虞があるので、戰爭に關係ある諸國では豫め用意する處があつた。各自の料を制限したり、或は肉食の度數抔迄にも干渉して國家が食物を節する態度を執りつゝ今日に及んで居る。實際然うでなければ國家が安康を得られぬからである。今回の水害抔も之と同じ事情の下にあるものとして考へられる。斯樣に水害や戰爭の時に國家が自ら手を下して食物の分配を遣る事に對しては誰も不服を言ふ者はない。警視廳に對する非難の聲も餘り聞かなかつた。けれども平日は其必要がないかといふに決してさうではない。何時でも分配の不平均から貧民は非常に困つて居るのである。だから水害や戰爭の時丈に殊更重んじて夫れで良いと考へてはならないのである。常に國家が分配をして適應するやうに努める許りでなく、貧乏人に對しては成可く安く食物の得られる樣に干渉せねばならぬ。若し然でなく單に道德問題の上に小商人を取締るといふ丈ならば、寧ろ根本的に制度を革めて行く方が餘程得策であらうと思ふ。

## □小賣人の手を煩はさゞる一方法

其方法に就ては茲に詳しく述べる遑がないから略して置く事にするけれども、私の主張では第一政府が米を自ら專賣し一個人に賣買の出來ぬやうにしたい事である。現在の如うに個人が自由に賣買し得られるやうであれば、其處に投機商抔が現はれて相場を人爲的に作るといふやうな不都合があ[illegible]らである。而して其等一部の人達に依つて、國民は何丈生活上に不安を感ずるか知れない事になる。米丈は是非共官營にする必要がある。常に飛放れた相場抔のないやうにすれば、國民の生活上に不安を與へぬやうになつて、何れ丈幸福であるか知れぬ。其他の主なる需用品抔も官營に遣れば理想的だと思ふ。若し夫れが能ないとすれば、せめては平常賣買程度



Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

を示して卸商や小賣人の不德をせぬやうにせねばならぬ。

最近農商務省の調査した處に據ると、野菜の如き物でも農業者が作つて、假りにそれを一圓で或市場へ賣つた物が、需用者の手に渡る迄には三圓になつて居るといふ話である。青物であるから數多い中には腐敗するのもあるであらうが、それでは餘り口錢を取り過ぎて居るやうに思ふ。斯ういふ事がないやうにする事も比較的簡單に能る。方法は東京市夫れ自身が町の一個所に勸工場の如うなものを作り、其處で食料品殊に野菜類等を賣買する事にする。農業者は直接其處へ持つて行つて、又夫を需用者にも直接之を分つやうにすれば、一圓で農業者が賣つた物は二圓位で賣る事は十分出來得る事だらうと思ふ。

## □根本的解決を要する問題

若しそれが出來ぬとすれば、競賣を盛にして成可く問屋や小賣人の手を經ぬやうにして安く買へるやうにするか、若くば緣日を處々に開いて時間を定めて、農作者が持つて來て賣るやうにすれば容易な事である。場所は人道の廣い處でも、又は公園を利用しても方法は幾何でもある。さうすれば從來の樣に問題が矢釜くならずに濟むやうにする事が出來る小賣人の手を經ないで直接消費者が得られる事であれば、道德問題は解決するのである。暴利を貪ぼる丈を折衷した丈では眞に徹底しないから、之は何うしても根本的の解決方法を採る事にせねばならぬと思ふ。根本的の解決を採るやうにすれば前に云つたやうな諸々の弊害を芥除する事が出來るのであるから常に國家は國民の經濟生活上に不安を感せしめぬやう十分留意して民力の增進を圖らねばならぬ。

## キイラトスの娼妓

先達の眞夜中頃、頗る淫しない風をした十四五人の婦人の一團が洲崎遊廓の大門から、市内の方へ流れ込んで來るといふ噂が專らなので、其筋でも捨置けずとあつて、早速警官が出張した▲すると、夫と行違ひに其一團が所轄署に繰込んで來たので何うした事かと居合せた係官が應待して見ると、洲若樓の娼妓全部が連袂して、主人の虐待に耐へ兼ねての自由廢業の屆出に出頭した事が判つた▲係官も一時開いた口が塞らずに忙然としたさうだ▲兎も角一同を宥めて引取らせる事にしたが、一團は頑として聞入れず揃つた揉んだの大騷を演じて漸つとの事で、靜める事が出來たが近來の娼妓は頗る理屈ぽくて困ると其筋でも聊か持餘しの體態ださうナ▲併し夫程持餘して居る者なら、一刻も早く其樣な厄介者を處理して成る可く手數の掛からぬやうにしたら良さうな者だが、態々事を紛擾させて自ら困つて居る處が所謂官僚式なのだと皮肉くるものがある▲理屈は何うでも自發に屆出でた本人の意思を枉げるとは少しく考へ者では無からうか。娼妓自身が自發して堅氣になりたひと、態々屆出でたのに許可せぬとは頗る不穩當だ▲當局者に什麼理由のある事かは知られど、全く人權を無視した遣方だとの非難がある。



Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

# 物價騰貴と國民の生活

早稻田大學理事
廓清會評議員　平沼淑郎

## 日本近世の經濟史と三大特徴

日本の近世の經濟史を繙く者は、必ず三大特徴のあることを發見するであらう。即ち第一は日清戰役後の正貨準備の膨脹、第二は、日露戰役後の外債、第三は、歐洲戰亂に伴ふ正貨の膨脹即ち之れである。第一の日清戰役後に就て御話しをして見ると、戰役後遼東半島を還附して、其後、正金が我國に流入し、其結果正貨準備は急激に膨脹した、又之に伴ふて兌換劵も膨脹したのである。それから日露戰役の結果に就て觀察して見るに、明治三十七年以後三年間に流入した所の外債の額は十一億餘である。而して又今回の戰亂に伴ふて我國の正貨は十億に達し、未曾有の好景況を呈して居る。

此の形勢に伴ふ所のものは、考ふれば種々あるが、何れも皆物價騰貴と云ふことを意味せないものはない。日清戰役の時に就て之を觀ると、物價は明治二十七年より同二十九年まで三割八分の騰貴を來し、日露戰役の結果は之又物價騰貴して而もその騰貴と云ふものは、甚だ急激であつた。即ち三年間に一割九分餘の騰貴を來してゐる。而して此度の戰亂に就て觀ても、矢張物價が騰貴して、二割乃至三割と云ふ數字を示してゐる。由之觀之に戰爭の結果は何時も、物價は騰貴すると云ふことは普通の現象である。而して此の現象は正貨の充溢したるに據るのである。例へば日清戰役當時と現代に於ての物價の騰貴は、實際正貨が我國に入り込むだ爲である、日露戰役は之と少し狀態は違ふ、即ち正貨が外債として入り込み、之が爲に正貨の膨脹を來したので自ら兩者の間に其原因を異にしてゐるが、何れにしても物價は騰貴すると云ふ事は爭ふ可らざる事實である。

此の騰貴とは如何なる場合に現はれるかと云ふことは以上說明の通りであるが、最も銳敏に之を感ずるのは株式市場である。之又何れの經濟界と雖も同じ共通の事實である。何となれば資金が充實すれば利率が減少する。それが爲に起業勃興の熱を起し、勢ひ人心が投機市場に集注することになるのである。從つて株の騰貴を觀るのは普通の有樣であると云はなければならぬ之を日清戰役後の有樣に就て觀るに、之れ又株が非常に騰貴して居る、一例を擧げれば、山陽鐵道の株の如きは、三十圓の拂ひ込みは五十圓となり、東京株の五十圓株は六百二十四圓と云ふ風になつてゐた。日露戰役の時に於ても、東京株は、二百六十八圓臺から五百十五圓に飛んでゐ

4—394

る。南滿鐵道でも、五圓株は四十圓と云ふ有樣であつた。今回でも、先日來株が暴落を來してゐるが、それは一時の現象で又好況に伴ふて騰貴するのは一般の原則から觀て事實である。而して株の騰貴が、普通の物品に及び、それから土地と勞力とに影響を及ぼして來るのは順序である。

## □物價騰貴と時局に對する注目

かやうな趨勢であるから、そこで物價騰貴なるものは、如何なる結果を來すかと云ふと、之は事業の勃興を促し、一般經濟界の景氣のよくなることは明である。此の際一定の給料を受けるものは、却つて生活上に困難を來すのである。併し好景氣の餘響として給料が之に伴ふて騰貴すれば、又別段の話であるが、俸給生活を營む者は、先づ打擊を蒙ると云はなければならぬ。

今説明の通り、株はかくの如き現象を呈し、好景氣を世間に齎し、勢ひ起業熱が勃興するのであるが、起業熱の勃興が正貨膨脹の程度に伴ふてゐない間は景氣がよいが、起業が餘りに勃興して、而も投機的の事業が行はれ、生產多寡の現象を來す場合は、茲に反動が起るのである。日清、日露の兩戰役の後に、明に此の現象が現はれてゐるのである。於是物價騰貴と好景氣と云ふことは常に併行すべきものでなく、時としては反動を來す結果を免れない。そこで今日の經濟社會に於て頗る注意を要することは多いのである。

先づ第一に、注意を促すべき事柄は、**海外の形勢**である。一例を取つて觀ると、日本と濠洲との貿易は、今回の戰爭以來發達したもので、その發達した所以は、何れにあるかと云へば、之は歐羅巴交戰國は戰爭の爲に、濠洲の注文品を供給することが出來ないから、濠洲から日本に品物を注文する結果に據るのである。之れ日濠貿易の急激に發達した所以である。然し乍ら之は一時の現象である。若し戰爭が終熄するか、又は現時の貿易狀態が變遷すれば必ずや其の反動のあることを免れない。世人は多大の注意を拂つて、一旦反動のある時の覺悟をしなければならぬ。又船腹の例を取つて觀ても、今や日本は二百萬噸と云ふ古來未曾有の噸數を有してゐて、海運の狀況は空前の好景氣を呈してゐるが、之歐羅巴交戰國が戰爭の爲に、船腹を與ふることが出來ない爲である。若し世界の海運狀態が復舊するときは、日濠貿易と同じく、又其の反動のあるを免れない。それであるから今日の物價騰貴に伴ふてゐる事實は、外國の形勢如何によつて頓挫を來す事を覺悟して、それに備ふ處がなければ、遂に自ら誤るであらう。

第二に注意すべきことは、**起業の性質**である。元來今日の戰爭中に起つてゐる事業の種類は、戰爭に關係した事業である。例へば、軍器兵器の製造事業であるとか、其の他軍需品に關係したもの抔が多い、さもなくとも戰爭の爲に、缺乏を來した物品の製造事業である。之等の事業は、急足の進歩發達をしたが、元來戰爭の爲に起つた事業であるから、戰爭が終れば、必ずや之又反動のあること前と毫も變らない。今日は物價も騰貴し、之等の事業品は盛大を極めてゐるが、焉ぞ知らん悲運の到來することを逆睹してゐなけれ



Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ばならぬ。佛獨戰爭の際に、漁夫の利を占めたものは、墺太利である。彼は交戰國からの軍需品等の注文を受けた爲に之等に關係した事業は急激に勃興し、經濟界に鮮なからぬ好況を呈したが、其爲に他の事業、例へば同國に於て當に進みつつあつた織物業の如きは大概之を中止して、軍需品の工場を盛に興すと云ふ有樣であつた。それが爲に正貨が非常に増加し、物價が騰貴し事業界の景氣は好く、最後の餘澤が勞働者に及むだけれども、戰爭が終ると、最早軍需品の注文がなく而して戰爭の爲に中止した事業を復歸することは頗る困難であるから事業界は沈衰し、物價は下落を來すと云ふ工合に遂に不景氣が襲來して、初め溫つた勞働者の懷も冷かになると云ふやうな調子で、一般の經濟界に大なる恐慌を來した其余派か世界にも及むだと云ふ、かくの如く考ふれば、丁度只今日本は之に類してゐないかと思ふ。今朝野は擧げて多大の注意を拂ひ、時局に備ふる所がなければ、遂に墺太利の二の舞を演ずるの悲運に至るは明である。

●第三に注意すべきは、物價が騰貴して、一時景氣が好いと云ふことは、前に述べた通り戰爭の結果であることである。

隨つて今日の如く、戰爭成金が出來る、其結果如何と云ふに、抑も戰爭の爲に富を作る人は、戰爭の關係の事業に從事する人か、若くば軍事上の公債に應ずる人である。之等の人人は戰時に據つて金を貯めるか、或は又戰後に於て公債の利息で安逸に身を處する人であるが、兎に角く何れか兩用であるにも違ひがないが戰爭の餘響は、之等の人々に及むでゐることは事實である。之に反して勞働者の狀態に於ては、一時に景氣がよくなつた。即ち物價騰貴の結果、勞銀の騰貴となつて、之が爲に一時非常な好景氣に向つた。然れども勞働者なるものは、勞銀を以て衣食するものである。戰爭的に萬の富を作るものでない、又戰後に於て其結果を味ひ得るものでない、彼等の景氣は一時的である、戰爭が終つて一度不景氣の風が見舞つても富豪が左程に苦痛を感ずることがないが勞働者が困難に陷つて、一種の社會問題が起ることは豫想が出來る。特に一般勞働者に警告する所以である。

●第四に注目を要すべきことは、物價騰貴の際に、起業が勃興して投機熱が起る。之れは前にも述べたが、詰り景氣のよいときは、利潤が增加して、株が騰貴するから物價が騰貴するのである。之が爲に株を製造する者は殖えるのである。それは現に日淸戰役後に於て、明治二十八年と、明治二十九年度を比較すると非常に會社の資本額に相違がある。即ち一年間に總資本が十二億に達してゐる、又日露戰役後同樣な結果が生じてゐる、即ち三十八年の下半期には、一億五千萬圓である。明治四十年は六億七千萬圓である。かやうな風に會社の資本額が增加し、株の製造が增へて來る。而して之に伴ふて空株の心配が非常に熾になるのである。此の際原則として株の騰貴を云ふものは熾になる。而して之れが一時の景氣に乘じて頗る好景況を呈するが之に對する反動がある。現に株が騰氣する勢があれば、賣方が熾である、賣方が熾であれば、反動して暴落する、一昨年は其模樣があつた、先日株が暴落したのも其原因とする處は上述に依る處の者であつたのである。

# 時局に對する國民の覺悟

農商務大臣 仲小路廉

## □今や國家興廢の岐るゝ所

今日の我國は、那翁崙戰爭當時に於ける英國の如く、國家興敗の岐るゝ重大なる時機に際會しつゝあり、隨つて朝野を擧げて時難を突破するの覺悟を要することは、謂ふまでもないことである。

此の時に於て、吾輩竊に思ふに、先づ内に處しては國民に安心を與へるやうな政策を採らなければならぬ。然らば國民に安心を與ふるの途如何と云ふに、开は生活を安泰にするに在る。生活を安泰にする爲には、生活上の必要品卽ち食糧品及原料品を潤澤に安價に供給せなければならぬ。而も是等の方法を講ずると同時に、一方此間特に物價の昂騰を圖り、私腹を肥さんとする奸商や、又今回の如き、天災地變に際會し其の弱味に附込む傀儡師の奸計畫に對しては、辛辣に取締らなければならぬ。然らざれば國民の生活は、依然として脅かされ不安の狀態にあるを免れない、隨つて益々國利民福を阻礙し、國運の消長に關すること甚大である、故に國民の生活の安泰を企圖するの政策は、此兩者相俟つて初めて所期の効果を擧げることが可能るのである。

又外に對しては、輸出貿易を奬勵すると同時に、是等の輸出品の價格は、相當維持の方法を講ぜなければならぬ。然るに世間或は、我が輸出貿易の大宗たる生絲の如きものに關しては、種々の浮說を流布し、以て其價格の暴落を招來するが如きは、思はざるの甚だしきものと云はなければならぬ。

## □予の議論と朝野の政治家

或は世間では、一方に食料品其他の物價の低落を圖りながら、他方に輸出貿易品の價格の昂騰を期するのは矛盾でないであらうか、と云ふであらう。然れども政治の要は、國利民福を期するに在るのだから、予の議論は毫も矛盾を認めないのである。寧ろ難者の說の皮想の見に過ぎざるを嗤はざるを得ないのである。

或は又、最近の市場を見て不景氣であると做し、政府の措置を難ずるものもあるけれども、惟ふに市場は國民の全部でない、時に市場の不景氣な場合でも、國家經濟から觀て憂慮するに足らない時もある。故に市場の景氣は常に國民の生活に關するものと思ふは誤りで、或る時は沒交涉な時もあるのである。或る一派の政治家の如く、市場にのみ媚びて少しも

國民の福利を顧みざらんとするが如きは、吾輩の採らざる所である。是等の政治家は、唯、眼中に黨利黨略を計るにあらざれば、自己の利福の爲に一般經濟界を攪亂し國民を惑はし國家を誤まることのあるは、大に慨嘆すべきことである。國民は均しく、是等沐猴冠を着け、羊頭狗肉の策を弄する政治家の其の政治的の命脈を斷ち之を圏外に葬ること、之れ軈て興國の氣運に副ふる所以ではあるまいか。

## □時局と所謂成金連の責任

我が國各方面の近狀を見るに、有形の方面は文明の進歩に伴ひ、大に科學的合理的になつて、世界の潮流を副うて、着々と向上進歩しつゝあるは大に悦ぶべきことであるが、之に反し、無形の方面、即ち市場の如きは、今尙は蒙昧時代の域を脱しない或は一般の者は箸の轉げ方や其他の迷信に據り吉凶をトするが如き狀態にあるは、如何に人智の幼稚なるかを思ひ、國運の將來に及べば秋の夕暮の嘆を發せざるを得ない。今日の時代は世界の大勢に鑑み、其需要關係を研究して計畫を立てなければならない。即ち米國に於ける生絲を原料とする工業の狀態を知つてゐれば、縱令種々の浮說が行はるゝとも、斷じて之に惑されるの理由がなく、平然として事に當ることが出來る。常に此の確信と自覺とを以て、今日の時局に處し、戰後の國際經濟戰に備ふるところがなければならぬ。今日の如く成金連が、僅の收入を得て有頂天となつて、書畫骨董を弄び、酒池肉林の樂に耽つて後世を誤るが如き輕擧妄動は斷じて之を避けなければ遂に國運の衰退を釀するに至る。

## □米鐵禁輸と米工業界の現况

世上兎角の議論喧しき米鐵禁輸の問題に就て言ふも、政府は屢々言明せるが如く、相當の解決を得る見込で現に交涉中である。又我が國製鐵事業の能率在庫品の數量等彼是考較して左迄悲觀するまでもない。生絲の輸入制限の如きは過般來屢々煙の如く傳へられ、昨今又金の輸出制限問題と相俟つて新に復論議せられつゝあるが、曩にも述べたるが如く、世人論者の言ふが如き悲觀說は、米國工業界の狀況に照して有り得べからざることである。

晩秋

要するに政治の要は、合理的に國利民福を增進するに在る此の趣旨に基いて、各種の施設を爲すべく、一方之を防ぐものあらば、對內的にも、亦對外的にも極力芟除するは今日の時局に處するの緊喫事であると思ふ。敢て世間識者の一考を煩はす所以である。（文責記者）



Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

# 天災地變と婦人の責任

三輪田女學校長
廓清會評議員　三輪田元道

## □時代の變遷と婦人の任務

何事によらず試驗を經なければ、眞の價値を認めるとは出來ない、そこで昔の人は「家貧うして良妻出づ」とか「年寒くして松柏遅れて萎む」とか云つて、初めて玆に、松柏の松柏たるの所以がある。又「國亂れて忠臣出づ」と云ふも要するに支那では歷史は古く、爲に天災地變も多く、政事上の事變、又は變革は激烈に顯はれてゐる爲に、自然に識者が恁う考ふる樣になつた一種の訓誡と見て差支がないと思ふ。所が日本では從來の婦人は、社會上の地位がなかつたが、近來に至つて比較的幸福な地位になつたのである。即ち夫たるものには相當に愛して貰ひ、親には相當可愛がつて貰ひ、子供との關係に於ても又さうで段々に人格が認められ、家族的生活に於ては、それ程不幸な地位に立つてゐない。

時勢の變遷に依つて國民の生活は家族生活より國家生活、民族生活より社會生活に移つてる今迄の生活は、「ホーム」的即ち人妻として家事萬端の整頓から其他酒掃應對位が關の山で之を婦人の責任とし、専ら其の任務は消極的であつたが、今や時代は轉じて彼等に積極的の任務を要求し、敎育、經濟、衞生等諸般の事務、さては慈善、救濟等の社會的事業にまでも及むで、所謂、禮記の「婦言、婦德、婦容、婦功」の内容は從來と異つた方面に趨つて來たのである。

## □社會の實教育と漁師町

目下吾人の氣の附いて居ることは今回の風水害の如き天災地變に、婦人は如何なる態度を執つたかと云ふことにある。その試驗に徴して見ると、今回婦人の社會に於ける態度は大に改革の餘地があるやうに思ふ。東京、千葉、茨城、神奈川等に於て、損害を蒙つたのは海岸、殊に漁師町である、私が多少漁師町に付て研究したことがあるが、漁師町に於ける男女は、共に天然を相手にして單純な生活をしてゐる、彼等は漁はたくさんあつて、豐年とも云ふべき時になれば、飲んだり、食ふたり、遊んだりして遊惰に暮して了まふ、若し不漁な年になると、非常に凋れ込むで、自ら生活の上に活路を見出さうともしないで出來るだけ借財をし、他人に迷惑をかけて只だ人を羨むでる。それのみならず、近頃は汽船が航海するから、漁類は少くなつたと云つて文明を呪ふと云ふ樣な事もある。凡て漁師町は、大漁の時は贅澤をする代り、又い、

ことはあるが税金も納めるとか、多少の借財も返すと云ふ様なこともないではないが、兎に角來年の計畫を立てないで、衝動的に生活して、折角得た金錢も浪費すると云ふことは彼等に通有な特性である。

　健全なる國民を作るには、無論此の漁師町をも改革することを忘れてはならぬ。殊に之等の低級な婦人を教養することは焦眉の急ではあるまいか。彼等は大漁の時は若干の貯蓄でも爲さしめて來年の計畫に資するところあらしめ、いざ不漁とか、或は天災地變に人の憐みを乞はないと云ふやうな氣風を養ふことにしなければならぬ。宜敷社會教育は、高級なる婦人よりも低級なる婦人より初めなければならぬ。而して一年や二年不漁に惱むでも差閊のなきまでの生活の確立を計ることは敢て贅言を要するまでもなく緊要なことである。

　今度の風水害は、實に稀有であるが、彼等は常々心懸けて多少の貯蓄でもあれば一時を過ごされて敢て天下に其憐みを乞ふ必要もなく、又秋立ち冬寒くなつて、収入が減じても思ひやられる程悲境に陷る必要もない。

## □慈善的事業と上流婦人

　之は惠まれる方の見方であるが、また惠むべき地位にある上流婦人の中からは又別の新らしい教訓を發見するのである。吾々は海外である處の一地方に於てさへも天變地異があれば其の責任を負擔せなければならぬ。而して之が救濟の手を施さなければならぬことを考へねばならぬ、現今成金家になつて、一部の社會では、收入も殖え經濟の豐富になつた人もゐるが、俸給生活をしてゐる者、又中流社會の連中は物價騰貴の今日、仲々餘裕がない。是等の社會は實に國家の中堅であつて、今日社會を支ふることが甚だ困難のみならず、妻子を養ふにさへ財政上の苦痛を生じてる者が鮮くない、從つて今回の樣な海嘯や洪水に逢つた罹災民に慈善や救濟をしたくても、提供すべき物に乏しいと云ふ工合で、仲々思ふ萬分の一も其の志を實現することが出來ないと云ふ始末である。

　近頃私は多くの富豪の家憲や、女學校邊りの教科書杯に表はれたる生活上の豫算表なるものを見て、慈善費目がない事を發見した。あつても不確實なもので、これは貯金をするとか、株劵を買つてゐると云ふ風にしたならば、一旦緩急の時に、慈善的手段を施すことが出來る、假令どう云ふ家でも臨時に出す事は困難であるから、平常から此等の慈善費の豫算費目を置いて、之を特別會計とも云ふ風にして備へて居なければ、上流婦人としての價値が何所に在るかと思ふ。

## □長者の萬燈より貧者の一燈

　一般より見ると、慈善と云ふものは、喜捨すると云ふ性質のものであるから、それが爲に名譽の報酬を得るとか、社會から虚榮を博するとか云ふ野卑な心ですべきものでなく、凡て陰德でなければならぬ。先頃、千葉の成田の不動尊へ行つて見たが、寄附金の石に刻れてゐるのを目撃した時、之は日本國民性を發現したものかと思つて非常に不快に感じた。賽錢であるとか、又は佛教界の爲に寄附したとかと云ふ誠心誠意のこもつた、篤志で爲したものであるなれば、何も石にま



Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

で刻して世の中に發表し、之を後世に傳ふる必要がない、全く之は今申した、名譽の報酬を得やうとか、社會に虛榮を博しせうとか云ふ野卑な心情の發露で、眞の慈善の本義を理解しないのに基くものである。何れにしても慈善は陰德的なもので、自分の眞心から出でたものでなければならぬ。或は又自分の境遇に應じないやうな莫大なことをするのも却つて虛禮になるの虞れがある。例へば學生で慈善や救濟をするとかと云ふ樣な社會的の事になれば、或は電車賃を儉約するとか、或は廢物利用をしたものとかと云ふ風な、自分の働作や精神の加つたものでなければならぬ。徒らに、多分な事を盡してそれで自分の分を盡したと云ふ事は幼稚な慈善心であらうと思ふ。昔から云ふ「長者の萬燈より貧者の一燈」と云ふことがあるが、今日では、長者の萬燈は、例へ光を放つ資格なきものでも、光々と輝き、貧者の一燈は、微に認められて、餘り重きを置かれないと云ふことは遺憾なることである。元來慈善的の事業は、一時的流行的のものでない、羅災民が此の生命を繫ぐ時には、モー秋風が吹いて霜枯れの時節になれば衣食に窮してゐる事を忘れると云ふに至つては、十日暖かめられて、一日冷かされると云ふ風になつて、却つて害を伴ふに至るのである。

此の雜誌が世上に流布さるゝ頃には此等の憐れな羅災民を慰問し、視察する人もなくなると云ふに至りはしないかと思はれる。果して然らば折角の慈善濟救も全く龍頭蛇尾の不徹底に終るのである、慈善救濟は、少くとも長く細くすべきものであらうと思ふ。

## □感情的一時的慈善を排す

流行的、感情的、一時的の慈善の仕方は往々我が國民間に觀ゆるは甚だ遺憾なことである。歲月幾何か經過して人に忘れられる頃、之等の憐れな人間の爲に徐ろに救濟する人は徹底したものと云はなければならぬ。婦人方が、人氣に乘じて虛榮の爲に、一時の感情に囚はれて、冷靜な態度で眞に理想的慈善を行ふと云ふ人が鮮なく、且つ一時的淺薄な態度の觀ゆることは慨嘆に堪へないことである。戰後に及ぼす影響は婦人の眞摯なる態度を以て、積極的に社會的活動を要求するので、從つて婦人の團體と云ふ樣なものにまで、其の使命や責任が重くなつて來るのであるから、モ一步進んで文明的、淑女的の態度で我れは女子なりとの自覺心を喚起して事に處して同胞の向上發展を圖り、興國の氣運に副ふことに努められんことを希ふて止まぬ次第である。

今回の風水害は、實に婦人の態度に對する試金石であつた此の試驗に及第し得たものは幾人あるか、大に彼等は自ら反省し努力すべき餘地はあるまいか、羅災民よりも、一層悲慘なる寄邊なき境遇にある婦人のあるに之等を少しも救濟し、墮落の淵に煩悶と苦痛の中に悩むでゐる賣春婦にも、之等の手を及ぼし度い。如何に婦人方の慈善救濟の事業は一時的にして感情的であるかは之に據つても明である。之れ實に無言の雄辯で此の事實によつて彼等が千萬言を盡しても其の態度を否定することが出來る。



Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

# 天災地妖と安心第一

新佛教幹事
廓清會評議員　高島米峰

## □文明は自然を征服し得た者

今日の文明は、人間が自然と戰つて、自然を征服し得た戰捷の賜である。我々人間は常に自然を征服し得たと豪語してゐた、然るに此度の大暴雨颶、卽ち自然軍の爲に逆襲せられて、一たまりもなく、みじめな敗北を遂げたと云ふことは、卽ち平常の慢心と不用意の報いと云はなければならぬ。隙があれば附け込むで來ることは、人間と人間との間に於ける、生存競爭の場合ばかりだと考へてゐて、自然と云ふ大敵に對する用意が充實してゐなかつた所ほど、自然の襲擊を受けて其の敗戰の跡が非常に悲慘を極めて居る。若し吾々がモ少し自然の逆襲と云ふことを考慮し、夫れに備ふる事が十分であつたならば、此度の樣な悲慘な事柄を生み出さずに濟むだのであらうと思ふ。詰り人間が、自然を征服し得たと考へて居たのは、全然誤りではないが、征服し得ない部分が甚だ多かつたと云ふことを、自然の逆襲に據つて、初めて氣附いたといふことになる。

そこで今後は、人間が自然に對する態度は、進むで自然を征服し盡すと云ふ覺悟と、自然の逆襲に耐へると云ふ用意とを充實しなければならぬ。早い話が、鐵筋コンクリートの大建築物は最近の自然的の逆襲に對して、殆むど何等の負傷もせず又土地の高い處に居住をして居つた人間に對して、自然の海軍である處の海嘯の襲來も聊か功果を收め得なかつた、縱令海濱の低地に陣地を構へて居ても、海嘯の襲來に耐へ得べき設備をして居れば、一時味力の退却は餘儀ないことゝしても、陣地から城寨まで悉く奪ひ去られると云ふことは、先づ以て無かるべき筈である。

## □軍國主義よりも國民の教養

畢竟非常な場合に、非常な事件の突發した時に、周章、狼狽して、爲す處を知らないと云ふ樣なことは、卽ち其の平常の用意が足らないと云ふことに基ひするものと云はなければならない。昔の諺に「治に居て亂を忘れず」と云ふことがあるが、天下泰平の夢濃な時は、人心が萎微して、且つ奢侈、虛飾と云ふ樣な事が風を爲し、人間に強大なる抵抗力を失ふが、又さう云ふ時分に出し拔けに外敵の襲擊を受けても、又內亂が起つても、之を防ぎ之を擊退すると云ふことが甚だ困難となるのである。



Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

かくの如く云へば、國と國と相對する場合も、平常軍備を擴張して國難に備ふると云ふ軍國主義を謳歌する樣にも聞ゆるが、必ずさう云ふ意味でない。『死せる孔明生ける仲達を走らす』と云ふこともあるが、軍備を如何に擴張しても、國民の精神が、國難に殉ずると云ふ熱を失つてゐるならば、即ち國の爲に死することを辭せないと云ふ忠勇なる精神が拔けて居るなれば、形式的なる軍備擴張は、畢竟用を爲さない事になるであらう。縱令軍備が充分でなくても、外交上の働きに據り、戰を未發に防ぐと云ふことも出來るし、縱令戰があつても、日清、日露の兩戰役の如く、寡を以て衆に當り、整はざるを以て整へるに當り、然も尚ほ且つ、連戰連勝することが出來たことを思へば、軍備の擴張のみが、國家存立の第一義とは云はれない。

## □平常の心是れ即道である

詰り人間と自然との戰爭にしても、油斷大敵と云ふ心持を失はないで、心も身體も共に充實し、緊張して居るならば、縱令天災地變しば／＼臻るとも、縱令敵國外患あらうとも、泰然自若として此の間に處して行くことが出來やうと思ふ。名前を忘れたが、昔、支那に某と云ふ將軍があつた、其人が部下の兵隊を引率して、或る小寺に出掛た處が、寺の坊さんが軍人が襲來したと云ふので、皆驚いて逃げ去つた、然るに彼の將軍は堂へ入ると、堂の一隅に一人の老僧が何所を風が吹くかと云はぬばかりの顏をして、泰然として坐禪をして居た、そこで將軍は、白刄を擧げて此の老僧の後に立つて云ふのに、汝の後には白刄を振つて、今將に汝の首を打ち落さんとしてゐる將軍あるのを知らないか、と怒鳴つた。然るに老僧は、悠然として徐ろに口を開いて曰く、お前の前には首を打ち落されても、何とも思はないと云ふ生死を超脱して老僧の居ることを知らないかと一喝した。

此の禪僧の如きは、即ち常に身心共に、充實し緊張せしめて居つたものと云はなければならない。そこで佛敎では『平常心是道』と云ふことを云つてゐるが、道と云ふものは、遠い處に在るものでなければ、自分以外にも存するものでもない、吾々の平常の心が即ち是れ道である。然るに、我々は常に道と云ふものを遠くに求め、道と云ふものを難きに求める故に常に道と云ふものと離れてゐる。不用意になつてゐる、空虛になつてゐる。其の道を離れて空虛な不用意な處を襲擊されゝば、必ず一たまりもなく敗北するに決つてゐるのである。此度の自然軍の來襲に依つて、手ひどい敗方をしたと云ふことに就いても、此點に關して大いに反省しなければならないと思ふ。（談話筆記）

### 〜魔窟の主婦〜

「私娼取締令」の大鐵槌に屏息した千束町の魔窟の主婦共は、更に其の發展の道を玉突遊戲場に求めて昨今出願する者が多くなつた。所轄象潟署では、彼等の目的を洞察してゐるので、仔細にその身許を調べた上、警視廳へ書類を廻送してゐるが、彼等は手を盡して區の有力家を動かしたものと見え、その御先に使はれ、肩書を利用して其の筋に運動してゐる人達が多いとは呆れたものである。

# 戰後の日本婦人の第一努力

女子學院長　三谷民子

**■日本婦人は大變見榮坊で……積極的の勞作の氣實はない■**

何處が日本婦人の缺點かと云ふ様なことは、とても私共の様な人間には判りませんが、只だ全體として見た處は、餘り過去に囚はれ過ぎて居ないかと思ひます。詰り消極的道德が浸み込むで、自分の爲す所を怠り、其の使命を誤りつゝありやせないかと考られるのであります。ですから自ら進むで積極的に働かうと云ふ様なことを遠慮して、世中に對する任務を怠つて居られるやうなこともあらうと存じます。その僻大變虛榮坊で、くだらぬ所へ氣を廻して、虛飾虛禮のみ意を注いで無暗矢鱈に自分の美點を發揮することに苦勞をして居られるやうであります。無論自分の美點や長所を發揮することは惡いことでなく、時としては推賞せなければなりませんが、何も自分の空虛な所抔を蔽うてまでくだらぬことをせなくても宜かりさうなものだと思はれます。

**■國家存立の本義の充實は……男女共稼でなければならぬ■**

ですから日本の婦人を外へ出すには、精神から作り上げなければならぬと思ひます。又御婦人方でも、今までの因襲から脱れて、新らしい天地に向ふには、其爲す所の大なると、小なるとに係らず、大にベストを盡す餘地が充分ありはせないかと思はれるのであります。況して、今日の様に大きい戰爭に出合つて、何日此の世界は何うなるかも測られないのですから、從來の引込み思案では、とても此の變局に處することが出來ないと存じます、又之からの世の中は婦人の積極的道德を要求しつゝあるのであります。其の上いろんな大きな國と交際して、國家存立の本義を充實するには、今までのやうに、男にのみ世話を燒かすとは、無理な話で、婦人方も種々な方面へ積極的に働かなければならぬ機運が殺到してゐるのですから、無暗に虛榮坊を張ることを廢すと同時に、眞面目な努力に依つて、積極的道德の向上を計ることに努めねばなりません。例へば、自分でいゝと思つて行らうと掛ると、扨て其の他人からの批評に頭を惱まされて、折角の計畫も中止し觸らぬ神に祟りなしで手を引くと云ふ様なことは往々見うけるやうですが、之等は詰り、事を自由に批判する能力と決斷力とが缺いて居られるのと、も一つは狹い心で居られるからだと存じますから、御婦人自ら浩々とした心を以て、事に當らなければなりません。

**■國家の存續發展と婦人の……關係は重大な意義がある■**

夫は、戰爭であらうと、平常であらうと、此の心懸けでなければならぬと存じます。今までの様に、世界の大勢や、外



Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

國の空氣と沒交渉で此の島國に居て、神國であると吹聽してゐた呑氣な時代は過去の昔で、今日の樣に個人としては申すまでもなく、國際間の競爭も仲々激甚を極めて、自分の立場を明にして、個人として、又團體として存續發展を計らなければならぬ時機でありますから、婦人方とても餘程の決心と覺悟とを以て世に處し、其の誤らざらんことを期せなければ遂に自ら滅ぶるの愚を演ずるであらうと存じます。

婦人は非常の時に當つて、能く諦らめると云ふことを申しますが、それは所謂決斷力と云ふやうな意味でなく、忍耐心が足らぬので止を得ず投げ棄てる意味であらうと思ひます。詰り向上發展する餘地を見出し、之を開發せないのではないかと存じます。若し上へ上へ伸びやうとする植物は、上から押へ附ける障害物があれば、假令夫れを排除し得られないとしても、その隙間や横合からでも又他の地面を潜つても伸び上る勇氣がなければなりません。且つ又時代はさう云ふ勇氣を婦人に要求しつゝあるのであります。

**■世界文明の潮流に後れる……理由の大なる一つは何であるか■**

日本人は男女を問はず人眞似は隨分巧妙でありますが、自分の獨創で、物を發明抔をして運命を開發する氣慨は至つて乏しいと云ふことは申すまでもなく、世界文明の潮流に後れる理由の大なる一つであらうと思ひます。例へば着物のことにしても、日本の婦人は、十人は十人同じものを拵へて少しも新らしい工夫を凝さないで舊套を墨守して居られるやうでありますが、西洋の婦人は、十人は十人工夫を凝して去年よりもモツト新らしい變つたものを作り出すことに苦心せられて居ることは、彼地に行た方ならすぐ御判りになることでしやう。日本の婦人が、因襲に囚はれ、折目がどうの、袖口はこうだと云つた風に假令之が不便であつても、之を犯すことは、丁度法律でも犯す樣な氣になられてゐらつしやる樣でありますが、服裝の調達の上から見て、彼我の婦人の生活の上に行はれてる働作の相違が窺はられるのであります。他の言葉で申すならば、日本の婦人は新工夫を凝すと云ふ獨創力と自由に判斷する詰り批判力とが缺けて居られることは、何よりも大きな缺點であらうかと思ひます。

**■時代の趨勢と婦人の關係は……如何なる風になつて來たか■**

然し今日では、我が婦人方も多少積極的に働き、いろ〳〵な事を自由に批判する力を持つやうな傾向が、或る一部に、現はれたことは何よりも悦ぶべきことであらうかと存じます例へば、從來は寒くあらうが、なからうが兎に角十月になれば、皆袷衣を着なければならぬ樣に思はれて、之は力ある慣習の一となつて居ましたが、今日では、十月になつても左程に寒くなければ、夏の着物で辛棒すると云つた工合の婦人のあることは、之は確に因襲より脱れて自由に事を批判する能力があるやうになつたことを證明するものでなからうかと存じます。然し人間は餘り自由に囚はれると放逸に流れるの虞がありますことは申すまでもないことであります。だから自分を守つて而も自由と調和し、開發して行くとが必要なことであつて、之は世に處する大なる要件であらうと存じます。



Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

# 浄瑠璃の男女道徳（五）

一條忠衛

## □□碁太平記白石噺（新吉原の段）□□

この浄瑠璃は焉馬、紀上太郎の合作であつて、天明の頃に出來たのであるが、年號は不詳である、こゝでは新吉原の段だけを評釋する。

今の宮城縣は刈田郡白石町の近在に與茂作と云ふ百姓が住んで居た。妻と二人の娘とがあつたが年貢を納めかねて水牢に處せられた。それを長女が救はうとして身を新吉原の遊里に賣つて、宮城野と稱し、漸と父の難儀を救ひ得た。さて此の廓に勤めてから十二年目に、郷里には一の出來事が起つた。田植時に父の與茂作が代官志賀團七と云ふ無侍に殺されたことである。それから續いて母が病歿したことである。妹の信夫は十五六になつて居たが、俄かに孤兒になり不遇の身の頼る邊なく、はる〴〵艱難をかけて坂東順禮の姿で姉を尋ねに上る。新吉原の廓で首尾能く逢へて一伍一什を話し合ひ、姉妹相擁して悲歎の涙に咽んだ。姉は斯う云つて居る。「す、其樣に思ひやるも尤。併しそなたは父母に、長うそやつた身の果報、此の姉を見やいの。う。年貢にせまつてとゝ樣は水牢、其苦を助けふばつかりに、此廓へ身を賣つたを思ひ返せば十二年、そなたは五ツ子顏さへ見知らずとゝ樣のご最後や母樣の死目にも逢はぬといふ、悲しい不幸なはかない事があらうかいの。斯うした事とは露しらず、此の妹は儚なか知らぬ、とゝ樣かゝ樣お煩ひでもあらうなら、よもやしらしてたもらう物、便のない杖柱、首尾よう年な勤めたら、國へ歸つてお二人に、樂させましてどうしてと、色やうは氣を揉んで、勤大事といひ號の殿御の事もそなたの事も、戀しなつかし思ふのをたのしみ暮した甲斐もなう、名乘り逢ふたは嬉しいが、悲しいはなし聞く姉が心も推してたもいの。」それから姉妹は曾我兄弟の古事に做つて、父の仇を討つ決心になる。

この一段の浄瑠璃に於て、徳川時代の女子が遊女になる動機を代表的に窺ひ知ることが出來る。宮城野が自分の身を廓に賣らんとする道德的動機は、親を救はんとする孝の觀念からであつた。父が絶對絶命の場合を救ふには、貞操を賣るより外に女子に神妙な手段が無いからであつた。孝行と貞操の輕重を計つて見れば時代道德としては孝行が第一位であつたこの二つが兩立することが出來ない時は貞操の德を犧牲にして孝行の德を立てなければならなかつた。若し國家の法律が道德的に出來て居て、縱令租税を滯納しても人民の生命にかゝはる樣な酷刑を科するが如き不道德の法律が無いならば、一少女の身に孝行と貞操とを衝突させることも無く、常に槓杆の如く國民の道德的行爲を平衡に圓滿に保ち得たであらう然るに國家の法律が道德的に出來て居なければ槓杆の用を爲さないので、國民の良心には諸の道德的衝突を惹起す結果になる。當時は文教學府の上から朱子學によつて孝道を鼓吹すること甚だしく、津々浦々にまで及んで居た。然るにその孝道を子が行ふためには親を養ふ資料が無ければならない。然るに德川時代は幕府及び地方大名が人民を收斂して養民に意なく、孝道の基礎を與へて居なかつた宮城野の場合に於ては、政府に納める年貢が無く父が水牢の罪を救ふ費用が無かつた。茲に當時の政治の大矛盾を暴露して



Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

居る。此矛盾から遂に宮城野は孝行のために貞操を賣らねばならぬ事になつた。蓋し貞操なるものは性的存在者として人格上必要なのである。子孫の發展のために肝要なのである。いま十二年間も廓に肉を賣つて居れば、總ての女子は身を害して石女になることは極めて明かな事である。性的存在者として人格を滅ぼし且つ子孫の進化を撲滅してまでも親の生命を救つたにせよ、それが孝行であると云ふことは理想の倒逆であり錯誤である子孫及び國民の發展を圖ることが孝行の要義であり、親又は祖先への朝三暮四は第二義的のもので無ければならない。理想は過去に向つて遡るので無く、將來に向つて進むのである。故きを温めて新きを知らんとすれば、貞操に伴ふ子孝行が孝行の本體である。故に父が水牢に處せられ今や絶命する場合であつても、貞操を賣つて救はんとするは倫理上に於て不合理であつて、唯だ號泣して悲むのみに止めなければならない。而してこの號泣悲歎を民に與へるのは專ら政治上の不道德に基因して居るのであるから、政治的廓清を俟つて始めて國民の孝道が徹底的に行はれるのである。けれども當時に於ては不合理な孝道を極端に鼓吹して居たから、貞操を賣つて親を救ふた宮城野の行爲は時代の上から見て最も正善であつた。今日、奥州逆井村ばかりで無く、日本全土に亘つて無數の藝娼妓を産出して居る。中には面白くて成る者もあらうし、誘拐によつて成る者もあらうし、自暴自棄から成る者もあらうが、親のため即ち家の爲めに道德的動機から成る者が大多數を占めて居る。又この孝道の動機からして藝娼妓になると稱すれば、如何にも可憐で天下の同情を引くことに成つて居る。この意味からして藝娼妓に成ることは舊幕時代からの道德的習慣として、善行爲の中に列せられ、却つて一種の誇を加へて居る。親を救う爲めに藝娼妓に成つたと云ふことは、自らも善行爲をなした孝女であると信じて居る。貧家の處女が白石噺を義太夫で聞いたり、又は芝居で見たりして共鳴するの餘り、舊幕時代の道德觀に釣り込まれて了つて、自分も一つ身を賣つて宮城野のやうに親に孝行を爲さうかと決心するに至るのである。父母は生活の苦痛から良心を失ひ、左鬮

## 三行八面鋒

隆之助

▣當局△愈々女給仕の全廢を期せんと敦圉く風紀政策の眞意重々感謝すれども本家本元の藝妓と待合は一體如何する心算

▣水害△罹災中に慈善金の分配方宜に不公平なりと其筋へ怒鳴込んだ男ありといふ非難を受くる當事者宜敷自重して可也

▣物事△凡て理窟で通るとは謂へ慈善は元來行爲上の權利義務に非ず受くる者若し彼が如んば施悲せぬが寧ろ双方利益

▣近頃△の演藝界最も猥雜なる種類の者が迎さるといふ風致の頽廢日一日と進む△隨つて甚しく警視廳以て奈何と爲す

▣活動△寫眞のみを取締つて肝腎な演劇方面は何でも宜しとせば全く本流を淸めずして末流を淸めんとするの愚に落ぬか

▣娼妓△自由廢業援助の權威たる伊藤大尉今度四人と娼妓の身上を比較し其の執れが幸福也やと處間相發らず伊藤大尉式

▣長野△知縣藝妓は營業なれば當然訴願の權利あれ共娼妓は稼業故其權利なしと

腹で食はうとする慾心を起し、娘に向つて白石斷などをして聞かせるのである。それから今日の所轄警察署の慣例によれば、娼妓志願者が來ると貞操道德觀から一應不心得である旨を諭すと云ふのである。卽ち政府は娼妓になることを國民貞操の風敎上より奬勵しないのであるけれども政府は一方に於て娼妓稼を營業として法規上より許可して居るのであるから志願者の斷乎たる請願を斥ける權限が無い。此場合に政府は此の矛盾的行爲に對して爾來警察署の慣例としては親のため又は家のために娼妓になるのか何うかを一應調査してから許すと云ふのである。これは明かに德川時代の孝道觀念をそのまゝに因襲して居るので、政府自ら孝行のためには貞操を捨てることを公許し、娼妓名簿に孝女として登記大書する結果になるのである。女學校に於て生徒から親を救ふ方法が他に無い時は貞操を廓に賣つても善いかと質問されたならば、修身科敎員は何と答へるか。普通學務局ではその時は斯う答へよと云ふやうな考案は未だ出來て居ないやうである。若し必要に應じてこれを拵へることになれば、局員等は差し當り何んなものを拵へるか救ふ方法が無いと云ふことは無い、能く考へて見れば必ずあるに違ひ無い、盡心と云ふ德が大切であると云ふやうな漠然として循環論法に誤魔化すか、又はその場合には已に法規によつて許して居ることであるから貞操を廓に賣つても能いと徹底的に答へなければ、一國の行政の統一的說明が出來ないことになる。今日我が政府に於て一方では國民敎育上貞操を講じ、一方では孝道の觀念から志願の女子に限り公娼たることを許可すると云ふ有樣は、依然として德川時代の矛盾政治の因襲又は崇拜に過ぎない。白石斷は德川時代に於て孝道と貞操との矛盾を描き孝道が貞操を支配した意味に於て淨瑠璃文學として敎化的價値を有して居たが、今日については時代思潮の上から見て價値を失つて居る。たゞ敎化的材料の哀史として評釋を施して始めて價値を有するのである。然るに政府によつて今日公娼が存置されて居る以上は、この碁太平記白石斷が差し當り民間の女子に對して公娼志願の案內記になつて居り、貞操切賣の敎科書として蓋し有力なる本である。

頑張る　嗚呼、娼妓は遂に人權を消失せるか

■大阪△南署深夜貸座敷業者を召喚して帳簿を檢出し遊客中より二百余名の違犯者を出て驚く遊廓内の邪惡今初てに非ず

■先年ナイルスと同乘飛行した大阪の某女墮落して賣春婦の群に投ずと噂さる固々虛榮心の強い淺慕者の末路寧ろ當然

■赤坂△の某盛妓屋には養女の数廿余人有といふ民法上如何に抵觸する處無と雖も公然たる賣淫婦養成所を何時迄捨置乎

■現時△の我國は輸出超過で正貨益々膨脹し物價の昇騰以前として底知れぬ秋加も國民は孰れも滿復の體態で納り返へる

■黃金△の熱に浮され寶の山へでも登つた心算で泰平樂を並べて居る間に洒然と殖える者三つあり曰く税と自殺と華族樣

■加之△國家の中樞となる可き中產階級續々相踵いで破產しつゝありと聞く國家の前途頗る悲痛寒心に堪へざる事なきか

■大阪△朝日家庭を紊亂し社會に害毒を流布するは獨り公娼のみにあらず寧ろ畜妾の如きがより以上甚しと叫ぶ宜哉言

■公私△娼に高率の稅を賦課し乍ら特に畜妾稅を免ずるは不當娼制の嚴存せる我の國辱は畜妾税に左右せられずと皮肉る

# 自由廢業と行政訴願

辯護士 布施辰治

## 一、權利の最低限と義務の最高限

形式上より觀たる立憲政治の意義は、法律を以て我々國民を政治すると云ふ事である。故に、立憲政治と云ふ事を最も直截簡明に約言すると、法治國と云ふ事に爲るのである。其處で法治國とは何んぞやと云ふ事を、更らに分かり易すく說明すると、我々國民の權利は、如何に尠くとも、此處迄は有るぞよとの最低限と、我々國民の義務は如何に重くとも、是れ以上には上せないと云ふ最高の限度を法律を以て定めて置く政治と云ふ事に爲るのである。そして普通に謂ゆる行政と云ふのは、法律を以て定められたる國民の權利の最低限を、より高く、また法律に定められたる、義務の最高限を出來る丈け低くする事に就て、國民の幸福を增進する法律運用の自由裁量に過ぎないのである。

斯樣に法治國の別名を有する立憲政治下の國民は、如何なる場合に於ても、法律に由りて定められたる權利の最低限を夫れ以下に侵されざると同時に、義務の最高限を夫れ以上に强ゆらるゝ事なきを期せねばならぬ、萬一にも、國家の政治運用にして、我々國民の權利義務に關し法定せられて居る最高限以上の義務を强ひたり、最低限以下なる權利の壓迫に屈從せしめんと欲するが如き事ありとせんか、之れ實に法治國の形式を破壞して仕舞ふ事に爲るのであつて、且つ立憲政治の眞意義を根本より沒却して仕舞ふ事に爲るのである。從つて、立憲政治國に於ける法律の威力は素より偉大にして、千鈞の重味の威信は單り我々國民の服さねばならぬ義務の最高限を强ゆらるゝ時ばかりに止らず、我々國民の依つて以て權利の最低限を主張する時でも、また、極めて有力なるものでなければならぬ。故に、立憲政治下の法律に飾り物が無い筈である。またあつては無らない、假令、如何に古い又は適用範圍の狹い法令なりと云へども、現に其の效力を保有して居る以上は、飽迄其の威力を發揮せしめねばならぬ。また夫れと同時に假令法律の威力は之れを尊重して、我々國民の爲めに適用すると云ふても、解釋の中正を誤つて、我々國民の利益の爲めに制定せられて居る法律を、却つて反對の不利益に曲解する如うな事があつたならば、矢張り立憲政治の眞意義を沒却し、且つ法治國の形式を破壞して仕舞ふ虞れがある。故に、眞の立憲政治を完成したる眞の法治國たらんが爲めには、法律の制定に關する國民的參與を徹底したる普通選擧と法律の適用を誤らない爲めの、陪審制度とを設置する事にしなければならないのである。

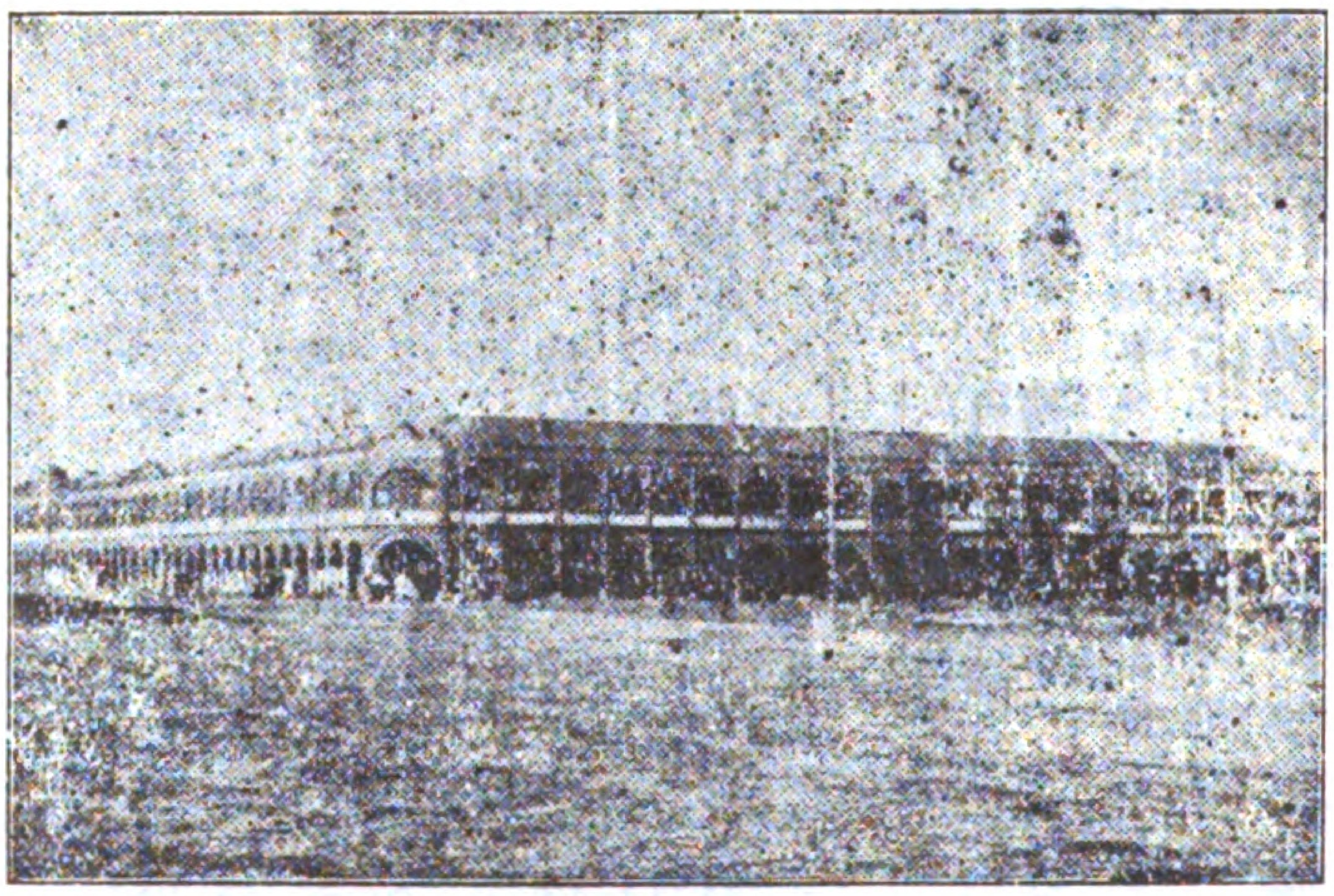
である。

## 二、法律解釋の手心と官僚政治

然るに、我國現在の政治狀態は、我々國民の爲めに、最低限の權利と最高限の義務とを明定する立法に參與することを許されて居るものは、日本國の名に由りて政治せらるゝ七千萬國民同胞の全部にあらずして、一部小數の百四十九萬九千九百二十一人に過ぎない。更らに、左樣なる小數者の參與を以て制定せられたる法律の運用を裁量する行政官の法律解釋を不當として獨立したる司法權の審判を受くる事が出來ないと云ふに至つては、殆んど沙汰の限りである、或る事實に對して、之れを認むるとか認めぬとか、若しくは、相當の理由ありと看做し看做されぬと云ふ解釋は、一に係つて行政官の手心に由る事に爲つて居るのであるから實に情けない次第である。

吾人は思ふ、官僚政治とは何んぞやと問ふものがあつたならば、夫れは手心を加ふる事の出來る政治であると答へたい之れに反して、立憲政治の形式たる法治國の嚴肅は、曩きにも一言したるが如く我々國民の權利の最低限と、義務の最高限が法律に由りて明かに確定せられて居ると云ふのであるからして、萬一にも、爲政當局者の手心次第を以て、我々國民の權利の最低限が何處迄も低下せられたり、又は義務の最高限が、彌やが上に增高せらるる樣な事があるならば、到底立憲政治の實を備へて居るもので無いのは勿論、法治國の形式を完ふして居るものでもない、吾人は斯うした意味から觀た、我國現在の立憲政治狀態を嘆かはしく思ふて、普通選擧の主張を高唱して居るのである、併しながら、今玆には左樣なる立憲政治の形式たる法治國の嚴肅を徹底せんと欲する理想と、我國の政治狀態とがあまりに甚だしき距離に就ての根本論は、暫らく措いて論じない、只だ夫れ吾人の最近に瞎聞したる娼妓自由廢業問題に就て、微なりと云へども、同じく國家の法律命令である。明治三十三年十月の發布にして現に其の效力を保有する娼妓取締規則中の最も重要なる人道的規定の精神を無視して、死文徒法の飾り物にせんとしたる活事例に關する行政官の手心的法律解釋を難じて、營業と稼業との異同を論じて見たい。

そして同問題關係の當局者及び天下の識者に訴へたいと思ふ。（以下次號に續く）



世界最大の遊廓？（濟南遊廓）

女の品位は世に知られざるにあり、その譽は良人の尊敬にあり、其のたのしみは、一家の幸福にあり　（ルーソー）

容色の外に何物をも有せざる女は花にして香なきが如く木にして實を結ばざるが如し　（レニエー）



Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

# 廓清春秋

河合北洲

## 生ける生

生けるの生これ、大宇宙が小宇宙に授けし父子相傳の神秘也。此神秘を自覺し自衞し、向上し、擴張し、更に創業する自我の意識と、機能も亦驚嘆すべきの至り也。

生の一粒種は既に内に燒え、自我の心芽は既に外に動く、蒔かれしものに時處位の相違あり、乾濕肥瘠の厚薄あるべしと雖も、發芽したるもの丶生々に急ぐは則一にして、如何かの人樹を樹立すべし樹立すべき根幹葉は「生けるの生」を生くべき、自我生活の三位一體に發動す。

自我生活の三位一體とは、人樹の根たる眞我其一也。向上し、擴張すべき幹枝たるの善我其二也。而して常綠の葉、不斷の果實孕むを……孕むべき美我其三也一粒の種子遂に天空の鳥を宿すに至るもの、此等眞善美我の機能、生活の戰場に覺醒し、緊張し、充實し、徹底し、全用したるもの、愛の光熱に動かされて「一生けるの生」なる偉大の人格を創造するに至る、何ぞ必ずしも偉大なりと云はん、頂天立地、一個の生ける人間を作り得れば則足る。「眞我とは天眞を自覺し、自衞するの生活也。白く塗りたるの墓、骸骨を以て滿たさる丶は天眞の生活に非ざる也、天を欺き、己を欺き、他を欺く、虛僞滿腹は與へられたるの生活に非ざる也熱くもあらず、冷かにも非ず、生けるに非ず、死せるにも非ざる酔生夢死は眞面目の生活に非ざる也、思ふて邪なく、語りて僞なく、喜ぶに飾らず、哀むに傷はざる惟誠是一の全我に、健康と、本能と良心は徹底し、滿足せるの小宇宙たるや雲は心なくして岫を出て、花は紅に、柳は綠なる純眞の生活味、則是れ眞我の張れる根柢味也。

善我は眞我の竿頭一歩を抽んずるもの自己を改善し、向上し、擴張する冒險と奮闘の生活也、冒險と奮闘を回避し、自己と天職を否定し、耳を蔽ふて鈴を偸まんとするは善我の生活に適せざるもの也善我第一聲の外に自己改善の善なるもの何處にかある。善我の第一聲は人生の至上命令にして、又絕對無限の權威也、權威を抱きて怯むもの何ものぞ、怯まざるもの何んぞ、權威のある所、暗雲黑霧の上に青天白日を望み、岐路縱橫の只中に正しきを踏みて懼る丶に足らざるあり。密室を出づれば千萬人と雖も我往くの勇猛心に燃え、鐵槌を揮ふ刹那の白兵戰に橫はる現實の死骸を越へて、新しく化成し行く理想の階段に立つ、一階又一段、新世界に新生面を開けば、白熱白光の超人たるに至る、白熱白光の善我は則又萬人萬代の善我にして、薰風何ぞ懦者を起たしむるの風化なからむや。

美我は大宇宙の第一美に共鳴すべき、小宇宙の第二義なる乎。大宇宙には斷へざる色彩の流れ、永生の天樂そ丶ろに風するあり、小宇宙にも知らざる大能の洩



Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

らす光、聖者の彈ずる聖樂なきに非ざれば、萬有を流るゝ生命のユーラスを唱へて、調和のリズムを奏せんとするも、眠れるものは絕美の靈床に覺めず。滅び行く魂は至聲に踊るの力なく、僅かに美我に覺めたる至人のみ、無限の神秘を彈じつゝ、藝術の創作に高調す。高調の已む可らざる、斷絕せる大小宇宙の整調を圖るべき。絕對の要求あれば也。絕對の要求、これ受く、より與ふるの生活也、人生の沙漠に清新の葉綠を映發し、蛇の誘惑ならざる生命の花實を與へて、神人たらしむるの行進曲を奏せんとす。美我の生活は眞善の生活より次第に、人生を靈化し行く、無限の行進曲なれば也。

大宇宙と、古聖賢の流し、「生けるの生」は、流れ流れて吾人に至る、然も吾人は將た何の狀ぞ、僅かに地上の存在に、死せざる生の一呼吸を托するのみに非ずや「生ける生者」何處にか在る。生くべき自我の解放は生の第一義にして、第一義の實現は信仰の鍵のみ之を握る、唯大宇宙の活機、小宇宙の鎖鑰を開くべければ也。

## 死せざるの死

死せざるはなし、死して死せざるは、生くべく死するに在り、生くべく死するは、生くべく生くるの環を改めざるに在り。

人生は蜘蛛の巢を作るが如く、時々刻々、原因より結果に、結果より原因に廻り來る、有形無形、有意無意の善環惡環を製出す、善環は惡環と相緣り、相連らなりて、集注し、綜合する、外周なる死生の大環を作る、死生は果して一如なる乎。死は萬事の終りならずして一事の始たるを知る、播くもの、穫るべき總精算に達したれば也。

一粒の麥、若し地に落ちて死なずば、唯一つにてあらむ、死なば多くの實を結ぶべし、實を結ぶべきは動機に在り、結べるは事業に在り、事業の無限軌道に永生の環は廻るべく。ワットの精神は長へに蒸汽車と與に輪轉し。フランクリンの智發は限りなく電線の網を織る、佛敎の生命は釋迦の不死量に正比例して、儒敎の存在は孔子の永生度に消長するある。生けるに生きしものは、死して生けるの靈光に、幾千萬の永生的連環を廻轉せんとす。

環は廻る。自己中心の、求心法は、自己の天地を縮少し、其存在をも抹殺する、溺るゝの酒色あり、焦がるゝの虛榮ありて、水火を永死の道に踏み。自己献身の聖業は、遠心的に自己を擴張し、向上する螺旋の輪廓に、無限の擴大を永生の天空に試む、永死と永生の分岐は僅かに毫厘の差に過ぎざるも、然も、カイザルの物はカイザルに還し、神の物は神に還すべしと云ふ、神の物をカイザルに還へしたるが故に永死は來り、神の物を神に還したるが故に永生の環は廻る也。

## ウオルムスの炬火

突兀たるアルプスの花崗岩は、ウオルムスの大會に立ちて曰く、吾こゝに立てり、又何をかなさん、神よ我を助け給へと禱りし、四百年前のマーチン、ルーテルは獨逸魂の創造せるアルプス以上の傑作也、彼の死して生ける事業と、其事業地は今や世界動亂の坩堝となれり。花崗岩塊の暮色蒼然たるとき、想望に堪へざるは、赫々たるウオルムスの炬火、



Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

再び心靈の世界を燒盡さんこと是也。

## 天の廓清法

暴風暴雨の一夜。廓清の突喊を試みて黑闇々の帝都を襲ふ。帝都は地上の大魔圓也。魔圓には善魔、惡魔、色魔、錢魔權魔、相擁し、相抱きて生殺、與奪、禍福、貧富、得失の黑手を運ふす、突喊の波、叩くノックに、電光は一閃、戰慄の本我に面す。本義と面々相接するは、幾日か、幾月か幾年振りか、人の爲し能はざる所は、神の爲し能ふ所也。

## 都門の夕

秋暮れて風悲し、都門の夕。人は生の腐骨に惱み、死の爛肉に迷ふて、老若男女、踠たり、踴として欲求の重荷に堪へざらんとす。重きは負ふべく叫べる十字架に重きを托するに非ずんば、荒凉たる滿目、沙上の建築に腐爛の人生は流る。

## 御見舞

今回の風水害は實に稀有のものに御座候處、各地會員諸彦には別に御被害御座なく候哉御見舞申上候、また早速本部へ御見舞を忝ふし有難く御厚禮申上候。幸何等の被害も無之此段感謝致し候、先は乍略儀上にて御見舞並に御禮申上候。

# □□懸賞文募集□□

□課題　一、男女の貞操
　　　　二、公娼全廢
　　　　各題

□賞牌　一等　金牌　一名
　　　　二等　銀牌　二名
　　　　三等　五圓圖書切符　三名

□選者　植村正久氏　安井哲子女史
　　　　安部磯雄氏　矢島楫子女史

□締切　十二月卅一日

□發表　大正七年二月の婦人新報並に本誌々上

**應募規程**

(一)原稿は廿四字詰十二行卅枚以内
(二)應募者は男女學生に限る
(三)在籍せる學校名明記の事
(四)應募文は東京赤坂區新町三ノ四六婦人矯風會本部宛とし封筒には懸賞文と朱記すべし
(五)應募に關する問合せは凡て往復端書の事

應募主宰　婦人矯風會本部



Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

# ▽これでも人なのか△

## □世は態々でも□ □餘りに酷過ぎる□

救世軍大尉 婦人救濟係 伊藤富士雄

監獄!!監獄!其言葉を聞いてさへ慄然する監獄は、惡事を働く者の當然受けねばならぬ體刑の場所である。

遊廓!!遊廓!其遊廓は、言ふ迄もなく無辜の民が惡魔の毒手に掛つて生血を搾られる生地獄其儘の場所である。斯う云つたら、現在の日本に奴隷制度はないと辯護する者もあるであらう。けれども夫は只表面上の議論で、事實は現在も昔も變る處はない。矢張り人身賣買は嚴として大正の聖代にも行はれて居るのは何うしたものか。

囚人は罪人であるに反し娼妓は善人である。夫なのに何故、囚人以上の苦痛を忍び剰へ生傷を受ける事があつても、人としての權利を主張する事が能ぬのであらうか。彼我の對照は全く我々をして唖然たらしむる材料が幾何でもある。

**第一食物**　囚人は三度であるが、娼妓は二食である。夫も本人の自由意志からではな、態々食物を與へぬのである。空腹であれば勢ひ客より食物を求めなければならぬ。求むる結果客の遊蕩費を多くし、從つて樓主の收入も多くなる勘定である。だから娼妓の食物を出來る丈減らし且又粗食を強ひて居るのである。

**第二衣服**　囚人も娼妓も或る一定の服裝としての變はないが、元々囚人は承知の上の仕役服である。夫に反して娼妓は自分自らの金で作る服裝であるから然るに自由に好む處を赦されぬ許りか却つて嫌な衣物が普通市場の相場より二倍も三倍も高く買つて迄も甘んじて着なければならぬのである。

**第三居室**　娼妓は部屋代を拂はねば自分の部屋へ自由に寢起する事が出來ぬのに反し囚人は清潔に行屆いた部屋に無料で宿泊が出來て、娼妓の夫れのやうに營業具の修繕費は要らぬのである。

**第四疾病**　監獄署が囚人の身體上に注意する事は全く行屆いて居るといふに反し、娼妓は實に氣の毒の立場にある。重病となつて迄も身體の自由を失はぬ間は、遊冶郎の玩弄物として突出す位は日常茶飯事であつて、中には梅毒で頭髮が拔けた者に鬘を被せて迄働かせた樓主もある。

**第五自由**　特別の事件の起らない限り囚人にあつては、定められた刑期に服して居れば必ず明るい社會へ出る事が能る。それでなくとも大赦特赦又は假出獄保釋杯といふ恩典があつて、時に依つては無期徒刑の者でさへ二三十年で出る事もあるが、娼妓は最初に樓主と決めた年限丈で出る者は殆どない。稼げば稼ぐ程借金が殖えて行く。加も囚人が出獄する時には在監中の工役錢といふ名目の下に多少の金を頂いて來るといふ事であるが、娼妓は善人であり乍ら、六年の年期を勤め上げた揚句最早使ひ道が無いと許りに裸一貫で放逐されるのである。

**第六休日**　囚人は大祭祝日は休むさうである。そして其日は教誨師の説教を聽いて倫理道德の何物かを知る事が能るのであるが、娼妓には生の通つて居る間、決して休みといふ者がない。加之毎日聽く事は不義不德の淫猥許りなのである。其樣なみだらな事を吹込まれて居る彼等が、口に不義不德を云ふのは何等不思議な事ではない。

**第七逃走**　若し囚人が逃走した場合其後四十八時間内に監獄吏の手に逮捕された時は、刑事訴訟法第六條の適用を妨げずといふ條文に依つて、屏禁若しくは僅許りの減食で濟むけれども、娼妓が逃走すると何故か問題は大きくなる。眞實娼妓は夫程大罪を犯した者ではないのに、警察から娼妓取締規則第七條第二項に照して五日若くば七日間の拘留、又は四圓か五圓の科料に處せられるのである。

最後の問題は最も重大なる問題である。それは姙娠の場合で、其筋では姙娠五ケ月以上の者は、護送する場合に自働車では胎内の嬰兒に少からぬ震動を與へるといふので、殊に人力車に依つて護送するさうであるが、娼妓にあつては普通六ケ月位迄は客に接し甚敷に至つては、出產前四日前迄客に接せしめられた者がある。全く常理を以つてしては到底測る事の出來ぬ世界は、言ふ迄もなく彼の遊廓であらう。

右は彼我對照した大略であるが然らば世間の名譽上に就て囚人と娼妓は比較にならぬといふ者もあらう。併し囚人の全部が社會の名譽を恢復する事が出來ないとは限らない。世の中には隨分監獄生活をして其以前より、より以上眞面目な生涯を送つて居る者が多いけれども娼妓は囚人より名譽があると云つても、身體自身迄が既に不具となつて了つては、其實質に於て寧ろ娼妓の身の上の方が不幸である。悲慘である。然り全く悲痛の極であらねばならぬ。

# 天鼓の響き

## 思ふが儘に

光鹽生

或る批評家は「現時日本の婦人問題は男子の婦人問題であつて婦人自らの婦人問題てふものは、未だ何處にも見たことも、聞いたこともない」と云ふたが、實に然りで、日本には未だ眞の婦人問題はない、私は思ふ男子の婦人問題と云ふよりも、極めて多數の文士學者、即ち思想階級の婦人問題と云つた方が、適評であらう。之では唯新聞や雜誌の上で大分賑やかに騒ぎ廻つて居るだけで、我が將來の婦人運動の上に勢力が加はつて來ないのも無理はない。如何にも心細い次第である。私は裏長屋のお松さん、お梅さんに至るまで婦人問題が普及され朝晩の井戸端會議の議題にまで婦人の權利が叫ばれるやうな、時代が來なければならぬと思ふ、矯風會の矢島女史が耶蘇教を手蔓にして、例の請願書に記名調印を勸誘して歩いたり、大隈侯を訪問したりして居る間は、未だ〳〵前途は遠いと云ふべしだ。

蘇格蘭の一博士が、屍の中に朱五丁の窒素分の含有せる事を發見し其の窒素肥料として、有效なるを說いたのを、我新聞紙で見たが、世の中には役にも立たぬ、屍の研究に耽る學者もあれど、公娼は檢黴があるから檢黴のない私娼よりも危險がなくて、安全なりとて、一夜に數知れぬ遊冶郞を對手にする、娼妓に一週間に一度位の檢黴がさも效能あるらしく、吹聽する何々研究家の謬說も又同樣の愚なるかなである。呵々

痴情の果、その情夫を刺して懲役刑を言渡された、神近某女は嘗て年若き處女時代には、故鄕にありて敎會に出入して聖書を讀み、神樣を讚美した麗しい過去があつたそうである。又帝劇女優中にはミツシヨンスクールの卒業生が居る、誰が何んと申しても彼等は女の道を踏み外づしたは勿論、いづれも人間の出來損ひであるには相違はない。若し試みにそれのみを牧師さんに問へば、答て曰く彼等は皆信仰より墮落して神樣と離れた者である、昔エデンの園に楽しく神樣に使へて居た、アダムと、イバを誘惑して墮落させた惡魔は今も尙ほ同じく主の名を呼ぶ多くの兄弟姉妹たちを遠慮なく滅亡に導かんとして止みません。御主の信仰を離れて、惡魔に歸した彼等を、顧み玉へアーメン。これでは天の神樣の御利益もあまり、有難い者でもない。

佛敎を中心として、お寺に集る者の中に、頑迷不靈の有難やの老年が多いのは誰も知る所なれど、又基督敎を中心として敎會に集る者の中には感情にばかり鋭くて、意志の薄弱な靑年が多い。斯くして吾が國の宗敎は行はれつゝゆくのである。近頃この呼吸を吞込んでゐる、ツルイ宗敎家殊に基督敎の牧師は、思慮の淺薄な靑年の感情を挑發させ、或は泣かせ、或は笑はせ或は狂はせつゝ敎會に引付けて、傳道上の効果を急がんとするの傾がある。あゝツンナ調子で出來上がつた粗製濫造の信者の中に某女の如き、躓いた人生の脫線者を出したからとて何の不思議があらん。骨折たる百姓まづ其の果を得るのたとひ、宗敎家は、徒らに時と効とを急いで人の子を誤らさなければ幸ひである。

薄暮、この稿を書いて居ると、窓外に救世軍の一隊は勇ましい軍歌と太鼓の音もろ共に進軍して行くのを見れば、うら若い年齒もゆかぬ未だ社會苑涙にも揉まれて居らぬらしい靑年男女が、群をなしてる。私は靜かに考へた。熱烈燃ゆるが如く舌を衝いて出づる彼等一信仰の告白、然かも基督の血、聖靈の火によれる、新人の歡喜を絕叫して止まぬ、その傍若無人にして罵を觸れば罵を斬り人を觸れば、人を斬るの譏がある大膽不敵の所業よ、願くば之れがパツと開いて、パツと散り去る夏の夜の線香花火に等しく血氣にはやる感情の發作、所謂變態心理のあらはれでなからんことを、そして私は若き彼等の前途に幸福あれかしと、神樣に祈つたのである。（六、七、五、深川區西六間堀所の客舍にて）

外國では小學校の男敎員と、女敎員との俸給は最初から法令の上で決つてゐて、女の方は男の方よりも安い俸給を貰ふ事は當然の事になつてゐる。米國では何故に性に依つて俸給に區別を爲すか、手腕の有無成績の善惡に從つて、俸給に區別を爲すは當然だが、恁んな法令は不道理だと云ふ議論は屢々出るが未だに改正されぬ。男女同權の思想の發達した同國の習慣としては甚だ不思議なことである。併し濠洲國にまでする程婦人運動の盛んな國だから何れ何とかなるであらうが。



Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

# 編輯餘録

■何處秋風至。蕭々送二雁羣一。朝來入二庭樹一。孤客最先聞。この劉禹錫の詩を思うに就て、秋色の濃くなればなる程、一入四疊半裡の悲みを覺へて、故郷の情を深からしむ。知らず宿昔青雲の志、木の葉の落ち散るに遂うて、益々落らぐ吁!!自から相憐む。

■鐵道線路の露となり、或は瀑布に消へ、或は毒を仰ぎ、又に脩して生の煩悶を解決せんとする者、畢竟この悲しむべき心情より來るものが多い。人をして悽愴の感に堪へむらしむ。

■時、秋にして人界にも木搖落の悲しみあり、榮枯詢に測り知るべからざるものがある。人生の暗壁に行きづまつて志を得ざる時、或は又如何に失敗の後に處すべきかは、實に之現代人の道德の一部でなければならぬ。

■彼等が事後に處するの方途如何に就いては大凡二者あり。曰く、他人の哀れみを乞はんとする者。曰く、自殺之れである。兩者各々其の道に手段、形式に於て多少の相違はあるが、此の二者に據つて、生の不可解を解決して居る。

■前者は執着力に於て取る所はあるが、腑甲斐なしさの譏を免れなず、後者は潔白の稱すべきあるも、男子の意氣地に於て缺く所がある。共に取るに足らない。

■茲に唯だ一途あるのみ、卽ち「人事を盡して天命を待つ。」之れである。概して云へば、正道を踏み、手段を盡して而も失敗せば、失敗も恥るに足らず、又、支那の張九齡の所謂宿昔青雲の志を得ざればとて敢て嘆息するの要なく、悠々事後に處して頽瀾を既倒に運らすを以て理想としなければならぬ。

■鳥の死なんとするや既に悲い國の亡びんとするや既に其の前兆がある。國民の氣風剛健にして、決して俯仰天地に愧ぢざるの行動をし、君國の爲には一身の利害を忘るゝの氣慨のある國民は益々繁ふ。日本の形勢は果して如何、國民は滔々相率ゐて奢侈を極め、殊に成金連は、今や酒池肉林の境に耽り盡して一花一石に數萬の金を擲し、奢侈の一轍に二十萬金を投じ、書畫骨董を弄ぶの頽風に國内は感染して、健實なる道義心、公共心は、其の形影も認められない程、擧國滔々亡國風に靡かされて居る。宋の徽宗を思ひ、足利義政を思うて、日本の現狀に思ひ廻らせば、誠に悚然として肌膚に粟を生ずるの感なきを得ない。敢に知らんや、此の國難を支持する剛健なる國民は何處にか在る。

■地震があり、或は大洪水があり、諸々の怪異が天地に現はれた時、宋の宰相蔡京等は、天が彼等の非行を憤れる一つの戒めとなさず、却って徽宗に奏して「甘露降り、祥雲現はれ、飛鶴空を蔽ひ、竹に紫花を生ず」と言つて、之を瑞兆し、二十五年の治世に於て、法外な奢侈を極めた。後に金の大兵、黄河に迫って遂に彼を亡ぼしたのである。國民は宋の徽宗の末路に鑑みよ

■立憲政治は人格主義の政治である。國民の自由を確保して權利を圓滿に享有せしむること、立憲國の面目である。此の法律あり此の制度組織あり乍ら尙且つ公娼制度を認めて婦人の權利人格を無視し奴隸扱にするこれ立憲國の大なる恥辱。大なる矛盾である。

■憲法發布の勅語を奉體し、何處までも感激奮勵して憲政の美果を收めることに紛骨碎身すべきであつて、造次顚沛にも決して之を悔つてはならぬと當局は云ふ政府は男女貞節の理想を破壞し、士氣の墮落、風俗の頽退延いて家庭平和の擾亂を釀しつゝある公娼制度を認めて尙且つ此の敎理を國民に强ふ、其矛盾又甚しいと云ふべし。一國の風敎も、風紀政策も此の根本を忘れては藥の能書ほども効めがない。當局の神經の遲鈍なるは、恰も義政や宋の徽宗に似て居る事と想ふ。飛田遊廓問題は實に敎理の矛盾と、風紀政策の根本を忘れたる當局の神經遲鈍なる所以を證據立てたるものである。尙は岡田文相、後藤内相は此の辱恥を世界に發表せん愚を演ずるや否や敢て當局の猛省を促す。

■貸座敷娼妓增加の禁止內諭（明治四年）、娼妓解放令（明治五年十月二日太政官達第二百九十五號）、司法省布達第二十二號（明治五年十月九日）等の諸法令は現行民法施行法第九條に據り廢止せられたが之が現行民法と抵觸したのでなく、實に民法第九十條は此等の精神を包含した、一の總則と見るべきである。卽ち曰く「善良の風俗に反する事項を目的とする法律行爲は之を無効とす」とある。金圓貸借契約は法律行爲の著例である。此條文を娼妓稼を目的とする金圓貸借契約に適用する時、其法律行爲は善良の風俗に反す所以を以つて當然無効でなければならぬ。而して尙ほ、同第七百八條の「不法の原因の爲め給付を爲したる者は其給付したるものゝ返還を請求することを得ず」との明文に照しても彼等の契約の無効なるは明である。然らば自由廢業に對する樓主の損害賠償の權利が認められないと云ふ論決を生ず。且つ夫れ人の債務を負擔するや、其自由は多少の制限を受けるは勿論であるが、若し債務者の全身を制御し、其自由を過度に拘束し、獨立の人格を消滅せしむるに至る契約の無効なることは輓近學說の一致する所である。然るに國家の公許する營業は醜業に非ずとして國家は彼等の契約の有効を認むるに至つては法理の矛盾又甚しと云ふべしで、余は法律の權威何邊にあるやを疑ひ、且此の法理の解釋は文明國の大なる恥辱であり、法治國の體面を毀損する者は天下に之を措いて、他に求むることが出來ない。（角雅堂）

大正六年十一月一日印刷納本（每月一回一日發行）
大正六年十一月一日發行　一部金七錢郵稅共

編輯兼發行人　神田區今川小路一丁目三番地　伊藤秀吉
印刷人　小石川區大塚窪町一番地　久保民生
印刷所　京橋區弓町十三番地　千代田印刷株式會社
發行所　神田區表猿樂町十番地　廓清會發行所
電話本局六二四番
振替東京二七〇七二番



Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

●廣告主へ御用の際は必ず雜誌『廓清』による旨御申添を乞ふ●


産婦人科。小兒科

女醫 鷲山改め 吉岡彌生

△院長診療 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後

産室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京市麹町區飯田町四丁目三十一番地

東京至誠病院

電話番町二二五七番

山室軍平氏著
社會廓清論
特價七十錢 郵稅八錢

グレゴリー氏著(邦譯)
歐洲諸國醜業公認制度廢止運動
特價稅共十錢

伊藤秀吉氏著
娼妓自由廢業案内
特價稅共十二錢

酒きらいになる藥
禁酒丸
一週分 一圓
二週分 一圓九十錢
三週分 二圓八十錢

どんな酒煙草のみでも害なく心からきらいになる。郵券二錢送れば説明書及大澤博士其他名士の禁酒禁煙論呈進

禁煙液
煙草きらいになる藥
金五十錢 金壹圓 金一圓五十錢

本舖 大阪靱南通二丁目 森田商店
電話土佐堀二六〇二番
振替大阪二二壹二六番

廣告主へ御用の際は必ず雜誌「醫清」によ る旨御申添を乞ふ●

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Koza-gori, Sagami. (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

Dr. K. TAKATA.

Within a few minutes from the Chigasaki Railway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone : Chigasaki No. 2

診察毎朝及毎夕　但祭日及日曜之他

院長 診察月、金、木、午前及木午後六時

林、峯間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ケ谷見附内）

電話番町六二番　東洋内科醫院

院長　醫學博士　高田畊安

電話ちがさき二番　南湖院

神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後　入院診後應需

診察毎朝　但祭日及日曜及土曜之他

4—418
効力五倍以上のクラブ歯磨
CLUB